

精神看護学実習

〔2単位 90時間〕

目的

精神に障害のある対象を理解し、健康段階・暮らしの場に応じた看護を実践するための基礎的能力を養う。

目標

- 1 精神に障害のある人とのかかわりを通して、関係性を築いていくプロセスの理解ができる。
- 2 精神に障害のある人への必要な医療および看護が理解できる。
- 3 精神の障害とともに地域で暮らす人に必要な支援方法が理解できる。
- 4 精神の障害とともに暮らす人を支える多職種連携と看護の役割を理解できる。
- 5 専門職業人としての倫理観を持ち、責任ある行動がとれる。
- 6 実習での学びと自己の課題が明確にできる。

精神障害者自立支援施設

目的

精神に障害をもちながら地域で暮らす対象を理解し、対象が自立するために必要な支援の実際と看護の役割を理解する。

目標

- 1 精神障害者自立支援に関する施設の概況及び活動状況を知り、役割・機能が理解できる。
 - 1) 施設の概況や特徴が理解できる。
 - 2) 施設の通所者の概況や活動状況が理解できる。
- 2 精神に障害をもちながら地域で暮らす人が理解できる。
 - 1) 通所者の心身社会的な健康状態が理解できる。
 - 2) 通所者の通所までの経緯と通所の目的が理解できる。
- 3 精神に障害をもちながら地域で暮らす人が自立するために、必要な援助活動の実際が理解できる。
 - 1) 活動プログラムの目的及び内容が理解できる。
 - 2) スタッフの通所者への関わり方が理解できる。
- 4 精神に障害をもちながら地域で暮らす人を支える多職種の役割と連携方法、看護の役割を理解できる。

実習期間及び時期

2～3年次 2日間

病院

目的

精神に障害のある対象への理解を深め、対象の状態に合わせた援助方法を学び、人間関係構築の基礎的能力を養う。

目標

- 1 対象とのかかわりを通して、こころのありようが理解できる。
 - 1) 対象の言動をありのままに受け止め、対象の状態や反応の意味を理解できる。
 - 2) 対象とのかかわりにおける自分自身の感情や思考の特徴に気づき、言動とのつながりを理解できる。
 - 3) 対象とのかかわりを通して、自己理解、他者理解を深めることができる。
- 2 精神に障害のある人を理解し、必要な看護を理解できる。
 - 1) 対象の状態を身体的側面、心理的側面、社会的側面から理解できる。
 - 2) 対象の強みを考慮し、必要な看護援助を実践できる。
 - 3) コミュニケーション技法を取り入れ、効果的なコミュニケーションをとることができる。
 - 4) 看護援助の過程を振り返り、相互作用について考察できる。

実習期間及び時期

2～3年次 9日間